

「在宅栄養ケアスタッフ研修会」を実施して

平成 27 年 7 月 11 日の大阪市区域を皮切りに、最終は 10 月 24 日の南河内区域まで大阪府医療介護総合確保 8 区域にて「在宅栄養ケアスタッフ研修会」が開催された。

この研修の目的は、在宅療養者の栄養・食生活の改善を図り、ADL・QOLの低下を防止するため、在宅療養者や介護者のニーズに応じた栄養ケアを効果的・効率的かつ継続して行うこと。

1. 栄養ケアを担う人材の養成
2. 地域における栄養ケア体制の構築を図ること

また研修の内容は、食事内容の支援だけでなく、食思不振の対応、栄養状態の判定や食形態の把握と技術の取得するため、基礎研修と実践研修を実施。

＜基礎研修＞（第1回・第2回）

1. 在宅栄養ケアの必要性を理解する
2. 各疾患と栄養管理の関係を理解する
3. 在宅医療・介護の制度の理解する
4. 地域での在宅療養者への栄養ケアを実施するための情報交換と多職種連携の必要性を理解する

＜実践研修＞（第3回・第4回）

1. 介護食のポイントを理解する
2. 在宅での栄養管理に必要な知識を習得する
3. 個人情報の取り扱いについて理解する

研修会の案内から開催までの期間が短かったにもかかわらず、多数の方が申し込まれ、会場によっては他地区へ変更や人数制限をさせていただいた。申し込み数は当初の目標500名を大きく上回る540名になり、参加者のこの在宅栄養に対する関心の高さが窺えた。

また、今回の研修会に参加して、栄養士会の活動に賛同し入会された方もおられ、研修では講義だけでなく、多職種が混ざるようグループを組み、グループワークを行った。

【感想・意見】

- ・訪問看護師さんからの事例を含めての話は栄養ケアの大切さ、必要性がよくわかった
また、訪問して家の中に入ったの食事支援は信頼関係が必要になると感じた
- ・在宅医療保険制度についてはとても参考になり、勉強になった
また、訪問栄養食事指導の流れもイメージできた
- ・まだまだ個人個人のスキルアップが必要と感じた
- ・知識や調理スキルを磨いていきたいと思った
- ・他の職種の方や同じ職種であっても分野によって違うので、多くの方の意見を聞いて良かった
- ・横のつながりがなかなか広がらないので、今日はいろんな方と知り合えて良かった
- ・実際に在宅栄養をされている方の事例を情報交換で聞く事が出来て参考になった
- ・悩みや不安に思う事が共有でき、同じ様に考えておられる方が多数おられることがわかり良かった など

【不安な点】

- ・自分自身のスキル不足
 - ・対象者さんとの人間関係
 - ・他職種との連携
 - ・栄養ケアの拠点
 - ・報酬といった金銭面 など
- 今回の研修を受けるだけでは、在宅栄養ケアを未経験の方が実施するのはむずかしいので、今後、実際の在宅訪問など実習を行う予定。
- みなさん、登録をして在宅で待っておられる方や必要としている開業医、ケア・マネージャーに期待され、喜ばれる管理栄養士になりましょう。

（文責 地活 吉山美和）